

サクラランボ労力確保

JAGグループ 山形など地域営農法人が協力

【山形】山形県とサクラランボ産地市町、JAGグループ山形、旅行者などは28日、山形市でサクラランボ労力確保に向けた合同会議を開いた。新たに県地域営農法人協議会と連携していくことなどを確認した。地域営農法人からの労力提供の情報などを受け、JAG無料職業紹介所が法人組合

員とサクラランボ農家のマッチングを図る。同協議会は、法人経営の課題や情報を共有しようと2016年3月に設立。JAGグループ山形地域・担い手サポートセンターに事務局があり、会員数は113。県内のサクラランボ生産は、高齢化や人手不足などの影響で収穫期の労働

力の確保が課題になっている。雇用労働力受け入れの環境整備として、交通費負担を前提とした求人とマッチングにも新たに取組み。子育て中の女性や仙台市居住者らを対象に収穫やパック詰めなどの作業見学会も開く。シルバー人材センター会員などを対象に、作業能率

向上のための研修会も拡充する。